

2023年7月5日(水) 第6限

1年キャリア教育特別講座 『ミライの選択～意思決定の方法～』

河合塾 中部営業部 担当部長 西山直志氏

総合的な探究の時間を用いてキャリア教育特別講座を実施しました。人生の節目にはたくさんの選択の場面があります。そのときに、直感やその場の雰囲気や決めたり、自分以外の誰かの考えで決めたりするのではなく、自分自身で考え、納得した上で決定する方法を学びました。



【 総合評価法 】

- ・選択肢×判断基準
 - ・判断基準には「重み付け」をする
 - ・総合点で考える
- 可視化することで、説得力が増し、
自他共に納得感のある意思決定ができる

講演では、「部活動を継続するかどうかを悩む高1のS君」を例に、「テニス部を続ける・部活をやめる・卓球部に転部」(選択肢)と「人間関係・勉強時間・レギュラー」(判断基準)を点数化したものを表に記入して、どの選択肢が良いか判断する経験をしました。また「先輩のしくじりから学ぶ」という総合問題では、先輩の意思決定の機会(分岐点)における「しくじり」を周りの人と話し合いながら、分析したり、具体的なアドバイスを考えたりしました。講演会の最後には、自分自身の進路について「選択肢」(学部)と「判断基準」を表に記入して考えていました。まだ進路が決まり切っていない1年生。判断になかなか重軽がつけられず、苦勞している姿が見られました。次回(11月)の講演会には、夏季休業中のオープンキャンパス等の経験も踏まえて、進路選択が明確になった姿で臨めることを期待します。

講演後の生徒の感想

- ・今ははっきりと行きたい大学ややりたい職業などは決まっていなくても、「英語が好きだから英語を使ったことをしたい」という自分の思いは大切にしていきたい。そのうえで、将来充実感のある生活が送れるように、今から将来を見越した行動や選択をしていきたいと思った。
- ・今日話を聞いたおかげで、「自分を知ること」「自分の行こうと思っている大学を調べること」の大切さを改めて深く実感しました。だから、部活や勉強が忙しいと言い訳をしないで、1年生の今から「自分がやりたいことは何か」考え、いろいろと調べておき、選択の幅を広げていこうと思いました。
- ・私は選択する時、本当にこれでいいのか確信が持てず、結局決めきれず、みんなに合わせるが多かったです。しかし、今回の講演で話にあった総合評価法を使えば、自分の気持ちを数値として見え、客観的に決められるので使ってみようと思います。

